

目標達成計画

作成日：平成 24 年 1 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	<ul style="list-style-type: none"> ・プランとモニタリングの連動。 ・日々の記録がプランに沿った内容であること。 ・記録の様式が記入しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン、日々の記録、モニタリングが連動し生きた記録とし目標に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記入し易い記録様式を検討し改良に繋げる。 ・パソコンの改良は総施設長に依頼する。 	4ヶ月
2	23	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきのノートへの記入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が記録し利用者の気持ちを共有、個別ケアの充実に向けて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケア会議で記録を確認し利用者の思いを共有する。 ・全職員が記録するよう支援する。 	3ヶ月
3	35	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練を行なってはいるもののまだ職員全員に浸透できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが確実な避難誘導が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員対象に職員のための避難訓練を定期的に行なう。 	随時ヶ月
4	19	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の関わりが足りていないと感じるケースがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人生の終末期を家族と支えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽にホームに来て頂けるように声をかける。面談の機会には家族の本音の気持ちを聞きとり、確実に記録に残す。 ・自宅帰省の継続。 	随時ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。